

令和 6 年 5 月 17 日

令和 5 年度年度政務活動のあらまし

品川区議会自民党・無所属の会

幹事長 高橋伸明

品川区議会自民党・無所属の会は 9 名で組織し、本年度も様々な活動を行いました。

日ごろの政務活動のなかで、区民の皆様からお聞きした声とともに、毎年行ってきた各種団体との政策ヒアリングを行い、本年度も 7 月に約 100 の団体へお声がけをさせていただきました。皆様からご意見ご要望を頂きました。

その後、政務調査会で検討し、100 項目を超える「令和 5 年度予算へ向けた政策要望」を取りまとめ、9 月に森沢きょうこ品川区長に提出いたしました。品川区と東京都の財源を決める財政調整算定、全国的に課題となっているふるさと納税、都市型観光、介護人材、ペット同行避難やドッグランの整備、ハトによる糞害対策や電動自転車をはじめとする交通事故対策、しながわ水族館のリニューアル、部活動指導員のありかた、いじめの相談窓口の考え方、児童相談所の都・区の役割、ヤングケアラー、認知症サポーター、無電柱化、町会の加入率、デジタル商品券、しながわシティマラソンとまちの賑わい、養育費支援、補聴器補助のあり方、デフリンピックの周知啓発など幅広い政策提言を行いました。

これら、我が会派からの要望が、品川区令和 6 年度の予算に数多く反映され、4 月から事業スタートしております。政策提言を行うに実際に行われている状況の把握や現場の確認、先進自治体の状況把握が不可欠であり、区内各所の調査とともに区外の調査も行いました。7 月には北海道に訪問し、地元の市議会議員と現場視察、状況調査、意見交換を行い、その成果を各種委員会において発言しております。また、年末には台湾へ超党派議連にて視察を実施し、宜蘭県との協力関係についてはこれまでの議論をさらに加速させるための連携強化を話しました。

また、多方面で活躍されている方を講師にお招きした、政策セミナーを今年度も数多く開催し、政策要望に活かしております。

広報活動として区政の最新状況を伝えるべく「品川区議会自民党・無所属の会広報誌」を複数回発行し、区内各種団体や町会長等の皆様には定期的に広報誌送付を行うとともに、さらに広く情報提供を行うため、新聞折込やポスティングなども取り入れております。

品川区議会定例会の最終日には、会派の議員全員で定例会の内容を含め区政報告を大井町駅前にて行っております。

品川区議会自民党・無所属の会は、「住み続けたいまち品川」を目指して、地域に密着し、区民の皆さまの声に応えた活動を行ってまいります。